



# ユツユツ とこどん

大仙市立太田中学校  
令和3年6月29日  
NO. 41



うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～



## 全員が「認知症サポーター」

高齢化社会の現代に、認知症は身近にある、避けては通れないものでしょう。認知症の介護施設も増えていきますし、自宅で介護なさっている方も多々いると思います。私も母を、親類を、認知症が原因で亡くした1人です。認知症は決して他人事ではありませんし、これからは、全国民が、社会全体が認知症を理解し、認知症に関わっていかねばならないと言っても言い過ぎではないと思っています。

そこで、今日6月29日(木)、大仙市高齢者包括支援センターの御協力を得て、次のねらいで、

- ①太田地域に生活する中学生として、認知症の特徴や高齢者へのサポートの仕方を学び、実践することで地域を支える一員としての自覚を高める
- ②認知症は誰にでもなる可能性があり、中学生として地域で何ができるかを考える機会とする
- ③認知症について正しく理解し、認知症の方や家族を温かく見守ろうとする態度を育て、この後の福祉活動についての理解と意欲を高める

全校で認知症サポーター養成講座を受講しました。

昨年は、3年生だけの受講でした。その3年生が卒業したため、現在本校には認知症サポーターはいない状況です。そこで、今年度は全校で受講することとしました。

講座の内容は、「認知症とその症状を理解する講話」「認知症の方への接し方を考えるグループワーク」でした。私も母のことを思うと、もっと早くに受講しておけば、関わり方もより適切にできたのではと考えさせられましたし、たくさんの人にも受講してほしいと思う、多くの学びを得た講座でした。

講座受講後、参加者は証としてサポーターカードいただきました。今日から太中生、太中職員はサポーターカード取得者「認知症サポーター」です。これを機に、社会問題にもなっている福祉についての意識・関心をさらに高めていきたいものです。

今後、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育(E S D)推進として、本校の柱である花育とともに福祉教育の充実を図り、来年以降も太中生全員が「認知症サポーター」で在るべく、1年生と希望する保護者の皆さんを対象に継続実施したいと考えています。その際には、身近な問題への関わりとして、多くの保護者の皆様にも参加していただければ幸いです。